

育てよう

鏡野のよい子シリーズ



「寄り添う気持ち」

四月。進学・進級の季節ですね。新しい環境が楽しみな子もいれば、心配だなと思う子もいることでしょう。保護者のみなさんの中にも、お子さんの環境の変化に不安を感じておられる方は多いのではないのでしょうか。この数年間、一年生の担任をさせていただく機会が多くあり、入学してくる子どもたちが安心して学校生活を送るために行けることは何だろうかと考えてきました。登校してきた子どもたちを笑顔で迎え、不安に寄り添うために、「一人一人をよく見る・よく聞く」子どもの姿を肯定的にとらえる」ことを心がけてきました。

私自身、四人の子どもをもつ母であり、この春は末っ子の小学校入学を控えています。入学前の二月には、入学説明会・ワークショップがありました。他のお母さん方と、入学に向けて不安に感じていること、これから取り組んでいきたいことなどを話す場です。私は、上の子たちの小学校入学を経験していること、自分が小学校で勤務し一年生担任を経験していることで、我が

子の入学への不安はあまりないな、と思っていました。しかし、まどめの話を聞いて思わずはっとしました。

「親は何回目でも、子どもにとっては初めて」

この言葉に、我が子の不安に寄り添おうとできていなかった自分に気づかされたのです。私はわかっていますが、子どもにとってはそうではなく、楽しみな気持ちの中に不安な気持ちをもっているかもしれない。その日から、子どもが安心して入学を迎えるために、話す時間を作ること、スキンシップの時間をとることを心がけるようにしました。

忙しい日々の中、お子さんを急かすこともたくさんあるでしょう。けれども、環境の変化の大きいこの季節だからこそ、目を見てゆっくり話し、ぎゅっと抱きしめる時間を作りませんか。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

香々美小学校 鈴木 美沙子

のびのびひろば

桃の節句



鶴喜保育園の玄関には5段飾りのおひなさまが飾ってあります。子どもたちは「これって、結婚式なん?」「いろんな顔の人がおるな～」と話し、興味津々に見ていました。

おひなさまの由来を聞き、早速各クラスでも工夫しながらひな人形作りが始まりました。そして3月3日のひなまつりには、自分たちで作ったおひなさまを遊戯室に飾り、歌を歌ったり、先生たちの二人羽織を見たりして楽しみました。

これからも病気をしないで元気に過ごせますように。



〈3歳児〉

デカルコマニー(合わせ絵)で着物の飾りを作ったり、ペットボトルの蓋でぼんぼりを作ったりしました。



〈1歳児〉

花紙を丸めて、カップに詰めて体を作ったりシールを貼ったりして作ったよ。



〈4歳児〉

いろんな廃材を使い、自分たちで考えて作りました。



〈2歳児〉

はさみやのりを使ったり、顔をクレヨンで描いたりしたよ!



〈5歳児〉

紙粘土を丸めたり、はじき絵で着物を作ったりしました。自分たちだけのおひなさまができました。



おひなさまと一緒にハイ、チーズ!!



(鶴喜保育園)